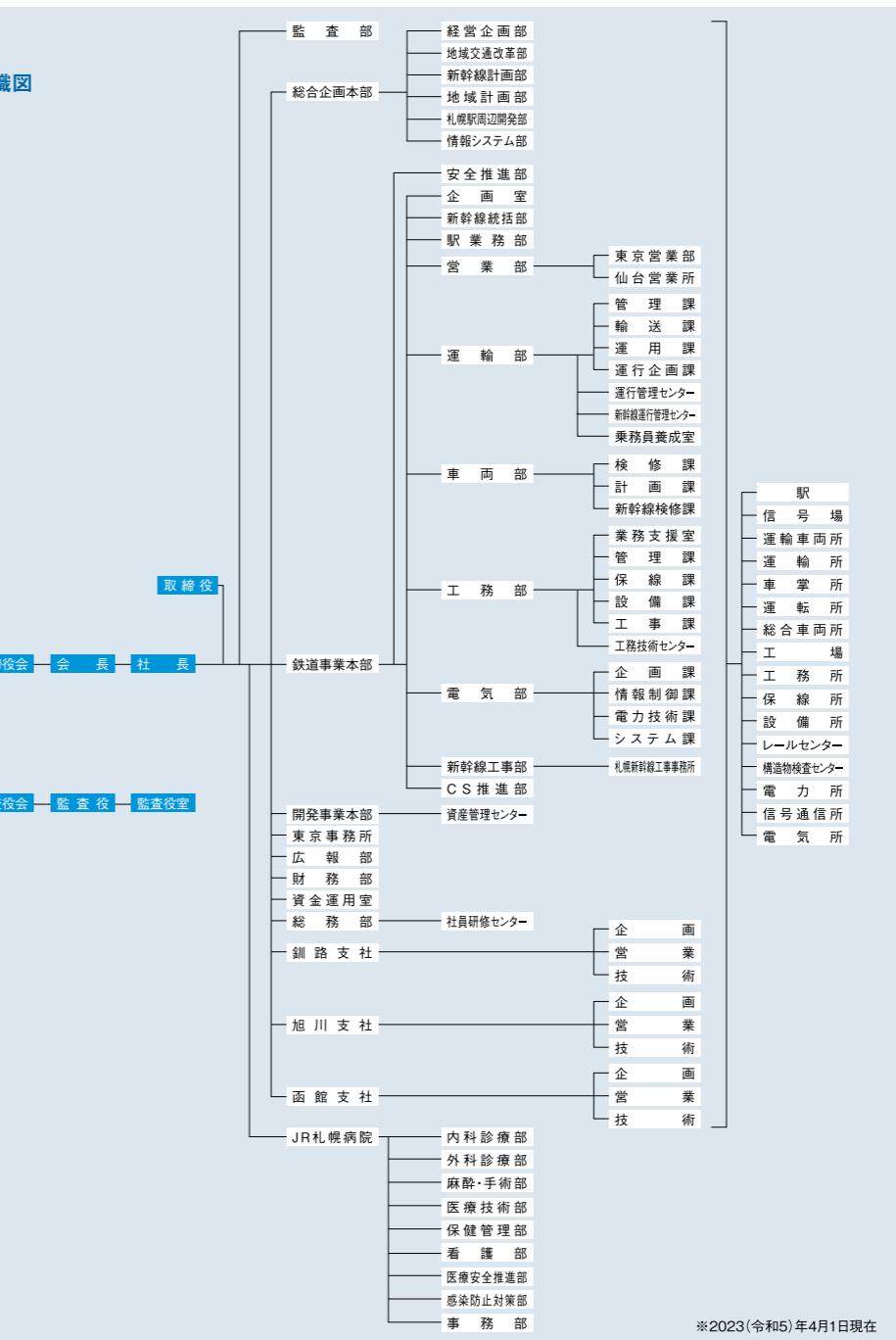


沿革

1987 (昭和62年)	4. 1 北海道旅客鉄道株式会社社発足 7. 1 国内旅行業営業開始 7.13 横内線岩見沢～幾春別間・三笠～幌内間運輸営業廃止 12. 1 道外初の営業拠点「東京営業所」を開設 12.19 リゾート列車第3弾「トマム・サロエクスプレス」運転開始	10. 1 JR北海道グループ会社4社(札幌駅南口開業) 地下街開発(株)・札幌ターミナルビル(株)・札幌開発(株)が合併、「札幌駅総合開発会社」
1988 (昭和63年)	2. 1 松前線木古内～松前間運輸営業廃止 3.13 青函トンネル開業。海峡線木古内～中仙間開業。札幌～上野間に寝台特急「北斗星」運転開始。海峡線「吉岡海底駅」「竜飛海底駅」「津軽今別駅」根室線「武佐駅」開業。青函連絡航路(113km)運輸営業廃止。函館線苗穂～琴似間、札沼線桑園～八軒間連続立体交差完成。721系電車・130形気動車を導入 4. 25 歌志内線砂川～歌志内間運輸営業廃止 11. 3 函館線苗穂～琴似間、札沼線桑園～八軒間連続立体交差完成。721系電車・130形気動車を導入 12.17 リゾート列車第4弾「ニセコエクスプレス」運転開始	2006 (平成18年) 3.17 面館線「張碓駅」、札沼線「中徳富駅」、宗谷「南下沼駅」、石北線「新宗野駅」、留萌線「室蘭線」旭浜駅」廃止 3.18 道内相互直着の特急列車及び急行「はまなす」実施
1989 (昭和64年) (平成元年)	4. 1 消費税導入(3%)に伴う運賃改定実施 4.30 標津線標茶～根室・標津間・中標津～厚床間運輸営業廃止 5. 1 天北線雄威子府～南稚内間、名寄線名寄～遠軽間・中湧別～湧別間運輸営業廃止 6. 4 池北線池田～北見間運輸営業廃止 7.14 札幌駅高架下に商業施設「パセオ」開業 12. 2 札幌～大阪間に寝台特急「トワイライトエクスプレス」運転開始 12.22 リゾート列車第5弾「クリスタルエクスプレス トマム・サロホ」運転開始	2007 (平成19年) 4.14 鋼網線浜小清水～藻琴間でDMVの試験的運転開始 6.23 岩見沢新駅舎開業 10. 1 特急「スーパーかもい」運転開始
1990 (平成2年)	3.10 深名線「雨煙別駅」「政和温泉駅」「露ノ台駅」「白樺駅」廃止 7. 1 千歳線「サロホビーチ駅」、函館線「知内駅」開業 9. 1 特急「スーパー・ホワイトアロー」、特急「とかち」運転開始。石北線「伊奈牛駅」、宗谷線「琴平駅」、深名線「新富駅」廃止 10. 1 留萌線「桜庭駅」廃止	2008 (平成20年) 10.25 ICカード乗車券「Kitaca」サービスを開始 11.17 根室線新大楽毛～新富士間鉄道高架開業
1991 (平成3年)	3.16 特急「はつかり」140km/h運転開始。「札沼線」の愛称を「学園都市線」とする 5.16 横室線鈴鹿～横室線の愛称を「花咲線」とする 7. 1 一般旅行業営業開始	2009 (平成21年) 3.14 Kitaca電子マネーサービスを開始。ICカード「ca」が「Suica」との相互利用サービスを開始 8. 1 札幌鐵道病院の新建筑物完成に伴い「JR札幌鐵道文化財館」を設立
1992 (平成4年)	7. 1 千歳線「新千歳空港駅」開業。南千歳～新千歳空港間に新線開業。千歳線・室蘭線PRC(自動列車進路制御装置)・PGC使用開始 7.18 リゾート列車第6弾「ノースレンジナー・エクスプレス」運転開始(愛称決定は11月16日)	2010 (平成22年) 4. 9 735系電車の車両公開(本運用は2012年5月) 10.10 函館線旭川駅高架開業 12. 4 東北新幹線新青森新幹線に併せ、特急「スーパー・鳥」の運転区間に函館～新青森に変更
1993 (平成5年)	3.18 急行「まりも」の運転を終了 4. 1 良寛野線に150形気動車を導入	2011 (平成23年) 5.27 石勝線清風山信号場構内に列車脱線火災警報装置 6.18 国土交通大臣より「安全輸送の確保に関する事務」 9.16 鉄道局長より「保安監査の結果等による改善指針」「事業改善命令、改善指令に対する改善措置の実施性向上のための行動計画」の報告書を国土交通省へ提出
1994 (平成6年)	2.22 横室線西新得信号場～広内信号場間で特急「おおぞら10号」が強風により脱線転覆 3. 1 新型振子特急「スーパー・北斗」運転開始 5.16 函館線砂川～上砂川間運輸営業廃止 11. 1 札幌圏輸送改善。札幌～桑園間3線化	2012 (平成24年) 6. 1 学園都市線桑園～北海道医療大学間電化 電車導入 8.25 北海道新幹線函館駅(仮称)～札幌間の建設式を開催
1995 (平成7年)	3.16 函館線「はしま駅」開業。学園都市線市原～猿樽間の複線化完成。学園都市線の「東篠路駅」を「拓北駅」に、「金谷白駅」を「いのりの里公園駅」に、「大学前駅」を「北海道医療大学駅」に改称。札幌駅に「JR北海道電話案内センター」を開設 9. 4 深名線深川～名寄間運輸営業廃止 11.28 新本社ビル竣工式	2013 (平成25年) 3.23 交通系ICカードの全国相互利用サービス開始 5.31 連輸運安委委員会から石勝線列車脱線火災事故調査報告書が公表される。 事務調査報告書が公表される。
1996 (平成8年)	1.10 運賃改定実施(JR三島会社) 6.23 学園都市線新幹線高架開業 11.24 横室線帯広鉄道高架開業 12.24 731系電車を導入	2014 (平成26年) 9.19 函館線大沼駅構内で貨物列車脱線事故が発生 9.21 道内複数箇所で整備基準値を超える軌間変動 線箇所について社内規程どおりに線路の補修工事が実施された事象が判明 9.25 新たに線路の整備基準値を超えていた区間が判明 10. 4 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果に基づく改善指示について」を受領 10.25 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果に基づく改善指示について(その2)」を受領 11. 1 JR東日本からの社員受け入れ。メンテナンスセンター、特急列車の最高速度と運転本数の見直し 11.12 函館保線室で輪座線検査データの改正が実施 11.29 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果に基づく改善指示について(その3)」を受領
1997 (平成9年)	3.22 特急「スーパーおおぞら」運転開始。客室乗務員「ツインクルレディ」デビュー。札幌圏に201系気動車を導入 4. 1 消費税率を上げ(3%～5%)に伴う運賃改定実施 6. 1 日高線に160形気動車を導入	2015 (平成27年) 1. 21 「軌道変位検査データ書き換え等に係る調査」 発防対策について発表 1.24 國土交通省から「輸送の安全に関する事業者事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」 国土交通省及び連輸安委委員会が当社を罰則適用する旨の監督命令を下す。 3.14 海底線「知内駅」「吉岡海底駅」「白滝海底駅」開業 3.18 消費税率引き上げ(5%～8%)に伴う運賃改定実施 5.12 江差線木古内～江差間運輸営業廃止 5.30 「根室線音羽駅構内で発生した軌道整備工事」 後の不正な状態確認を判断した事象についての監督命令 6.12 「JR北海道再生推進会議」を設置 7.23 「事業改善命令、監督命令による措置を講ずる」を策定し、国土交通省へ提出 8.30 メンテナанс強化のために最高速度を見直し 9.19 「緊急安全の日」を制定 12.24 並行在来線(五稜郭～木古内)を運営する第三会社が「道南いさりび鉄道株式会社」に決定
1998 (平成10年)	2.25 函館線小樽～旭川、宗谷線旭川～永山間にPRC運用開始 3. 1 快速「海峡」に「ドラえもん海底列車」として運転開始 11.21 札幌駅と新千歳空港駅に「自動改札システム」を導入	1. 8 日高線摩周～大狩部間で土砂流出 1.14 北海道新幹線岩見沢延伸の5年前倒しが決定 3.14 寝台特急「トワイライトエクスプレス」711系終了 3.20 「安全投資と修繕に関する5年間計画」を国土交通省へ提出 4. 1 「JR北海道グループ経営理念」「社是」を改定 「私たちの誓い」を制定 6.26 JR北海道再生推進会議より「JR北海道再構築計画」を受領 8.22 寝台特急「北斗星」の運転を終了 10.13 北海道新幹線の特急料金等について認可申請 12.31 北海道新幹線の地上設備最終切替事前確認(2)
1999 (平成11年)	7.16 札幌～上野間に寝台特急「カシオペア」運転開始 10. 1 札幌駅南北口構造地下街「アピア」開業 11.28 宗谷線「礼文浜トンネル」でコンクリートはく落事故発生	2016 (平成28年) 3.20 寝台特急「カシオペア」の運転を終了 3.21 特急「スーパー・白鳥」「白鳥」、急行「はまなす」 北海道新幹線新青森～新函館北間開業。 里見駅「東追分駅」、根室線「花咲駅」、石北本線「白石駅」「白石南駅」「下白滝駅」「金華駅」、函館駅「廃止」。ご利用の少ない普通列車の見直し 車による普通列車793号を取りやめ 5.27 「安全再生の日」を制定 7.29 「持続可能な交通体系のあり方」について発表 8.30 台風により道内各地で大きな被害が発生 11.18 「当社単独では維持困難な線区」について発表 12. 5 留萌線留萌～増毛間運輸営業廃止 12.22 台風被害で運転を見合わせた石勝線・根室線再開(根室線東鹿越～新得間は引き続き運休)
2000 (平成12年)	3.11 学園都市線複線高架完成。宗谷線高速化事業完成。 261系特急「スーパー・宗谷」運転開始 3.29 有珠山の火山活動により室蘭線長万部～東室蘭間で運転見合わせ。函館線根室知安駅由の迂回運転開始(3月31日) 有珠山噴火、6月8日 宗谷線全面運転再開 12.25 快速「エアポート」に指定席「Uシート」を導入	
2001 (平成13年)	7. 1 特急「おおぞら」が全列車「スーパーおおぞら」化	
2002 (平成14年)	3.16 L特急「スーパー・ホワイトアロー」が旭川～札幌～新千歳空港間を直通運転 12. 1 海底線に789系特急電車「スーパー・白鳥」運転開始	
2003 (平成15年)	3. 6 「JRタワー」グランドオープン 8. 1 「JR北海道インターネット指定席予約サービス」を開始	
2004 (平成16年)	1.28 DMVの開発について発表 3.12 石勝線「楓駅」廃止	
2005 (平成17年)	6. 1 新千歳空港駅と札幌駅に「JR北海道外国人インフォメーションデスク」を設置	

概要



※2023(令和5)年4月1日現在

※2022(令和5)年4月1日現在

取締役会長 田 修	常務取締役 鉄道事業本部長 [安全統括管理者] 宮越 宏幸	取締役 総合企画本部 副本部長 [札幌駅工事担当] 地域計画部、投資計画担当 東京事務所、JR札幌病院担当] 島村 昭志	取締役 (非常勤) 大槻 博
取締役社長 貫 泰之	常務取締役 [地域交通改革担当] 監査部、財務部、資金運用室、総務部担当 コンプライアンス担当] 萩原 国彦	取締役 鉄道事業本部 副本部長 [安全・仕事改革担当] 川戸 俊美	取締役 (非常勤) 須賀 紀子
副社長 画本部長 [札幌開業準備担当] 井 政人	常務取締役 [地域交通改革担当] 監査部、財務部、資金運用室、総務部担当 コンプライアンス担当] 萩原 国彦	取締役 [開発事業本部担当、札幌駅周辺開発担当] 小沼 智子	取締役 (非常勤)

2020 (上) 年 8 月 20 日 現在

1

役員 総合企画本部 副本部長
　　企画部 新幹線計画部 広報部担当
　　システム、デジタル戦略担当
　　日 浩司

執行役員
　　鉄道事業本部 副本部長
　　関口 司

執行役員
　　開発事業本部長
　　営業、インバウンド、地域連携担当
　　林 雅子

執行役員
　　財務部長
　　木元 剛

執行役員
　　鉄路支社長
　　戸川 達

※2023(令和5)年6月20日現在

1

役員 総合企画本部 副本部長
　　企画部 新幹線計画部 広報部担当
　　システム、デジタル戦略担当
　　日 浩司

執行役員
　　鉄道事業本部 副本部長
　　関口 司

執行役員
　　開発事業本部長
　　営業、インバウンド、地域連携担当
　　林 雅子

執行役員
　　財務部長
　　木元 剛

執行役員
　　鉄路支社長
　　戸川 達

※2023(令和5)年6月20日現在

1

役員 総合企画本部 副本部長
　　企画部 新幹線計画部 広報部担当
　　システム、デジタル戦略担当
　　日 浩司

執行役員
　　鉄道事業本部 副本部長
　　関口 司

執行役員
　　開発事業本部長
　　営業、インバウンド、地域連携担当
　　林 雅子

執行役員
　　財務部長
　　木元 剛

執行役員
　　鉄路支社長
　　戸川 達

※2023(令和5)年6月20日現在

1

役員 総合企画本部 副本部長
　　企画部 新幹線計画部 広報部担当
　　システム、デジタル戦略担当
　　日 浩司

執行役員
　　鉄道事業本部 副本部長
　　関口 司

執行役員
　　開発事業本部長
　　営業、インバウンド、地域連携担当
　　林 雅子

執行役員
　　財務部長
　　木元 剛

執行役員
　　鉄路支社長
　　戸川 達

※2023(令和5)年6月20日現在

JR北海道会社案内 2023

JR北海道会社案内 2023(令和5)年9月発行 北海道旅客鉄道株式会社 広報部 <https://www.hokutetsu.jp>

北海道旅客鉄道株式会社 広報部
60-8641 札幌市中央区北11条西15丁目1-1
<https://www.hokkaido-tetsudo.jp>

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>